10月1日から 路線バスの運行経路が変わります

秋北バスでは、10月1日から新しい経路で路線バスを運行します。

この度の運行経路の変更は、秋北バスターミナルの廃止などに伴って行われるものです。

近年、秋北バスターミナルの利用者が減少し、総合病院や大型店周辺での乗降者数が増加しています。このような利用状況の変化や利用者からの要望を受けて、バス停留所位置の変更、運行経路が見直されました。

路線バスは、市民の皆さんの日常生活を支える重要な交通手段です。特に高齢者など、他に交通手段のないかたの欠かせない移動手段になっています。そのため、利用者の減少により運行の継続が困難な路線には、その路線の運営事業者へ国や県、そして市からも運行経費の一部が補助され、路線を存続させています。

皆さんも身近な公共交通機関である路線バスを利用し、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出抑制とバス路線の維持にご協力をお願いします。

運行経路が大幅に変わります

○全路線(19路線)がバスターミナルを経由しなくなります。それに伴い、大館・鷹巣線、大館・米内沢線の起・終点が大館鳳鳴高校から大館駅前に、二井田・真中コミュニティバス(さわやかみなみ号)、市内循環バスの起・終点が秋北バスターミナルから大館駅前に変更されます。

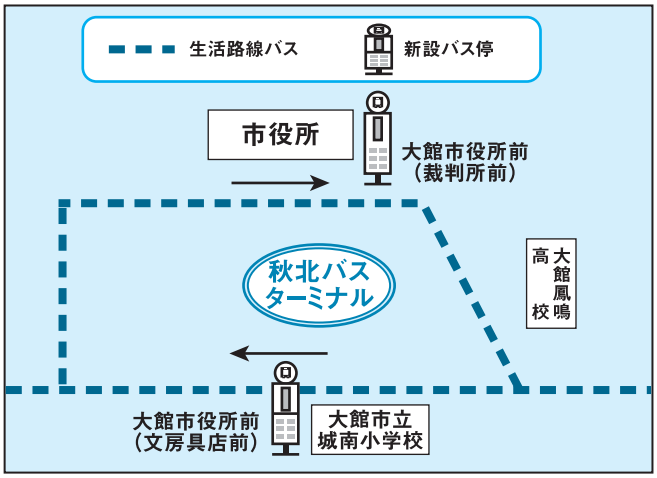
○矢立(陣場)・大森・繋沢・寺の沢の4路線が中学校・高校の統合を考慮した路線になります。

○市内循環バスを運行していなかった川原町、通り町、鉄砲場、有浦5丁目、有浦6丁目町内周辺を経路に加え、市街地路線バスの空白域を解消します。

○高速バスがいとく大館ショッピングセンターを経由します。

バス停の位置が変わります

バスターミナルを経由しない代わりに、裁判所前(大館鳳鳴高校方向)と城南小近くの文房具店前(総合病院方向)に新しいバス停が設置されます。バス停名はどちらも「大館市役所前」です。



また、市内循環ハチ公号のバス停が12カ所、高速バスのバス停が1カ所(いとくショッピングセンター北口付近)新設されるほか、比内町扇田長岡のバス停を廃止し、比内公民館周辺に3カ所が新設されます。

※秋北バスのホームページで各路線の運行経路やバス停が確認できます

「大館市得とく定期券」をご利用ください

対象者

①満65歳以上の市民

②身体障害者手帳・療養手帳・精神障害者手帳を持つ市民(年齢制限はありません)

販売期間

平成26年3月31日まで

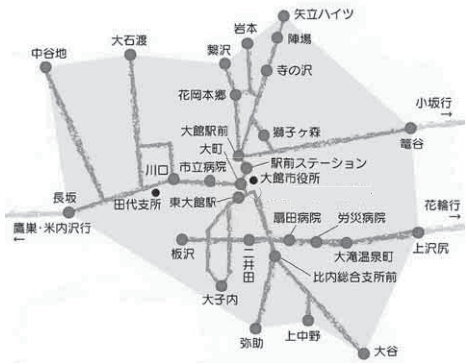
価格

①1カ月　3千円(通常1万円)

②3カ月　9千円(通常2万円)

③6カ月1万8千円(通常3万円)

利用可能な路線



お問い合わせ

路線バスの運行経路やバス停の変更に関すること

秋北バス　自動車課

☎42―3536

公共交通全般、大館市得とく定期券に関すること

都市計画課都市整備係

☎43―7082